

すぐに寝込んでしまいました。

さつそく、医者を呼び、診察してもらいましたが、原因がわからないということで、手のほどこししようがありませんでした。

刻一刻と病状が悪化し、命もあやういという医者の話でした。

ある者が、よく当たるといわれていたおがみや（きとうし祈祷師）を連れて、やって来ました。おがんだおがみやがいうには、

「かみやねづか上米塚のお地藏さまが現われて『殿さまが病気になったのは、わしの大事な腰かけの松を切ったからだ』とっておられます。」

ということでした。そのことを聞いた殿さまは、

「わしが悪かった。今すぐにかみやねづか上米塚へ参り、きとうし祈祷師を連れてお詫わびに行くから、したく支度をしろ。早くいたせ。」

と、いつてよろよろと立ちあがりました。家来の者たちは、